



大阪ガス

ガス追いだき機能付湯沸器

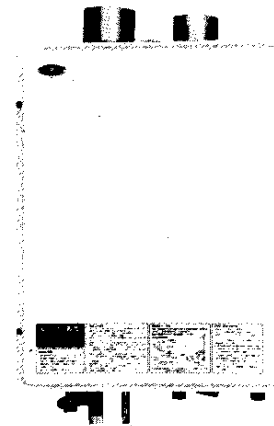
取扱説明書

31-066型

保証書付

法定型式V16F1型

ニュー・ジェットプロ-16



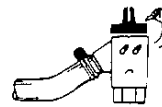
本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

本社ガスビルサービスセンター	☎541 大阪市東区平野町5丁目1	☎大 阪06 (202) 2221
南 支 社	☎557 大阪市西成区玉出東2丁目9番41号	☎大 阪06 (852) 0007
北 支 社	☎532 大阪市淀川区十三本町3丁目6番35号	☎大 阪06 (301) 1251
堺 支 社	☎590 堺市住吉橋町2丁目2番19号	☎堺 0722(383) 1131
北 摂 支 社	☎569 高槻市藤の里39番6号	☎高 槻0726(72) 2111
阪 神 支 社	☎662 西宮市和上町4番11号	☎西 宮0798(26) 3101
東 部 支 社	☎676 東大阪市船場2丁目3番17号	☎河 内0729(62) 1131
京 阪 支 社	☎673 枚方市西田宮町16番17号	☎枚 方0720(43) 1222
神 戸 支 社	☎650 神戸市中央区相生町5丁目13番10号	☎神 戸078(576) 5231
京 都 支 社	☎604 京都市中央区烏丸御池船場町358	☎京 都075(231) 8151
奈 良 支 社	☎631 奈良市学園北2丁目4番1号	☎奈 良0742(44) 1111
和 歌 山 支 社	☎640 和歌山市本町1丁目1	☎和 歌山0734(31) 2481
姫 路 支 社	☎670 姫路市神屋町4丁目8	☎姫 路0792(85) 2221
東 播 支 社	☎675 加古川市加古川町栗津29-1	☎加 古川0794(21) 1801
豊 岡 支 社	☎688 豊岡市三坂町6丁目57番地	☎豊 岡0798(3) 2221
湖 南 支 社	☎625 津门市船分町字荒堀680の1	☎津 津0775(62) 5311
彦 根 支 社	☎622 彦根市大東町12番11号	☎彦 根0749(22) 3131
(長 浜 営 業 所)	☎526 長浜市南兵衛町3番4号	☎長 浜07496(2) 7171

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ

大阪ガス株式会社

260400 ©



ガス器具をお使いになったあとは必ずガス元せんも閉める習慣を



使用中は熱くなりまず手をふれないでください！



ガス器具はガスの種類にあった正しいものを

●ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス追いだし機能付
湯沸器〈ニシキボイラー〉をお求めいただきあ
りありがとうございました。

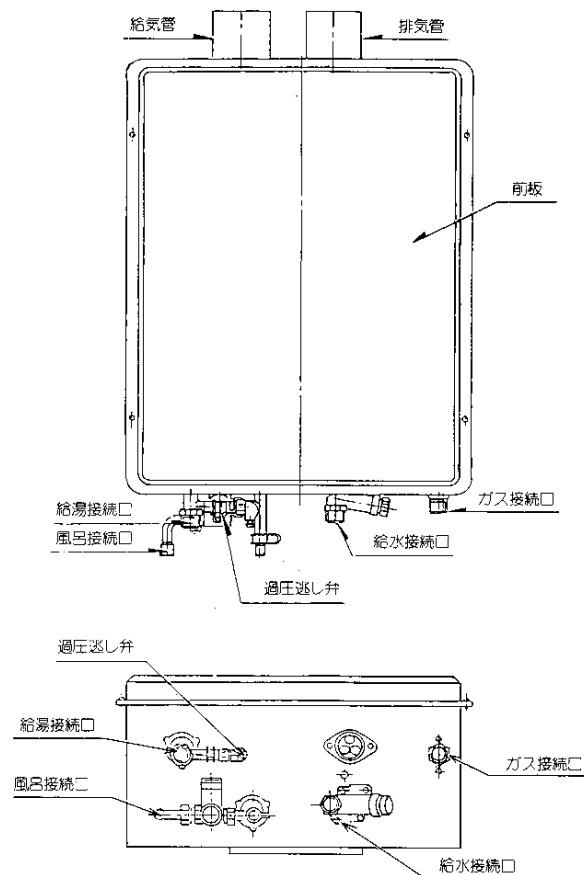
別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を
大切に保存してください。

もくじ

●各部の名称	2
●特に注意していただきたいこと	5
●器具の設置	11
●使用方法	11
●使用時のご注意	18
●日常の点検・手入れ	22
●故障・異常の見分け方と処置方法	24
●アフターサービスのお申し込み	25
●特長	26
●寸法図と仕様一覧表	27
●別売部品のご紹介	29
●本製品と快適なくらしのために	30

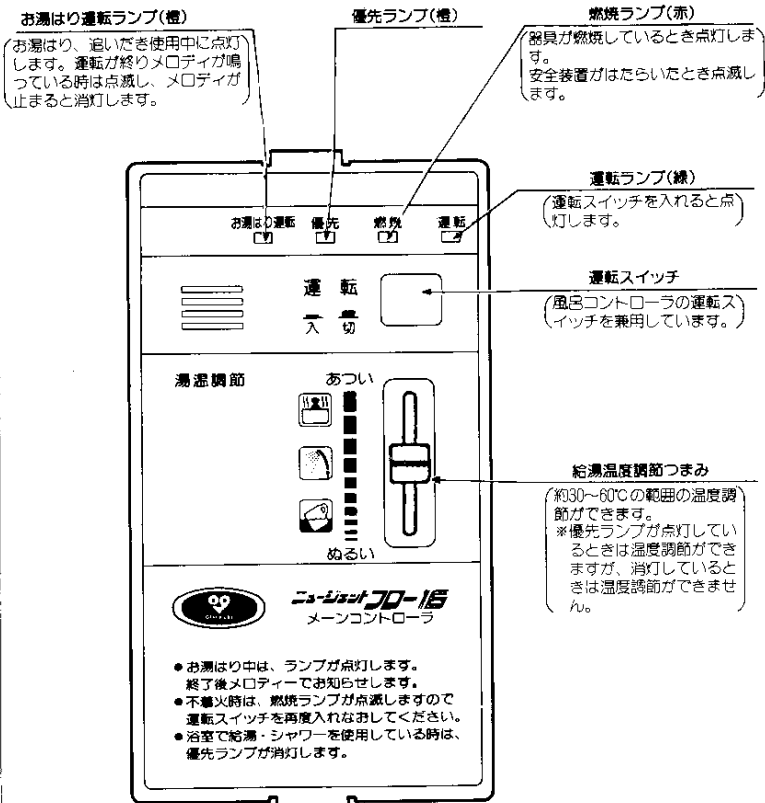
各部の名称

●器具本体(31-066型)



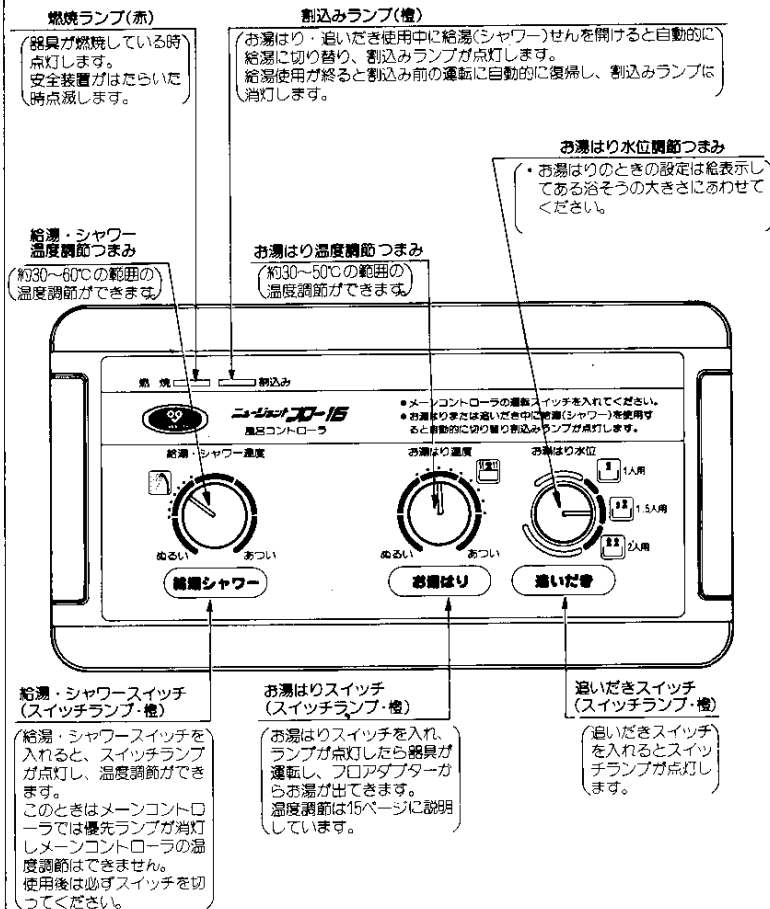
各部の名称②

●メインコントローラ



各部の名称③

●風呂コントローラ



※文字の部分スイッチになっています。文字を押してください。ランプが点灯したらスイッチが入っています。再度文字を押すとランプが点灯し、スイッチが切れます。

特に注意していただきたいこと

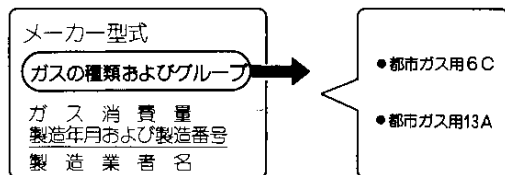
安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

使用ガスについてのご注意

- ガスの種類を確かめてください。

ガス器具本体の正面にはってある銘板(ラベル)に表示のガスの種類と、お宅のガスが一致しているかを確かめてください。

(銘板)



- ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスには、ガスグループの区分があります。
- 転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

使用電源についてのご注意

- 電源の電圧と周波数を確かめてください。

この器具はAC100V、60ヘルツ用です。お宅の電源の電圧と周波数が一致しているかを確かめてください。

用途についてのご注意

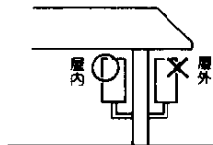
- 給湯・シャワー・風呂のお湯はり・追いだし以外の用途には使用しないでください。

特に注意していただきたいこと②

使用場所についてのご注意

- 器具の使用場所について

- ①屋内設置専用の器具です。屋外には絶対設置しないでください。
- ②特殊薬品(アンモニア、イオウ、塩素、エチレン化合物、酸類など)やその蒸気がかからない所に設置してください。
- ③ガスレンジやコンロなどの燃焼器具の上には設置しないでください。
- ④家具、壁その他の可燃材から十分離れている場所に設置してください。
- ⑤火災予防上また、保守、アフターサービス上正しく設置されているかご確認ください。
- ⑥排気管および給気管の工事がが必要です。「工事説明書」とおり工事されていることを確認してからお使いください。

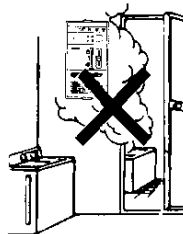


- 器具の使用地域について

井戸水や硬度の高い硬水地域では使用できないことがあります。くわしくはお買い求めの販売店、または大阪ガス支社におたずねください。

- メーンコントローラの使用場所について

- ①湯気、湿気のないところに設置してください。
- ②ガスコンロなど燃焼器具に近接する場所への設置はさけてください。
- ③屋外に設置しないでください。
- ④詳しくは「工事説明書」を参照してください。

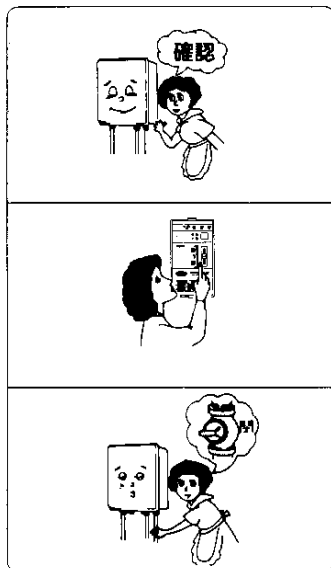


- 風呂コントローラの使用場所について

浴室または脱衣場に設置しますと便利に使用できます。シャワーなど水がいつもかかりそうなところへは設置しないでください。

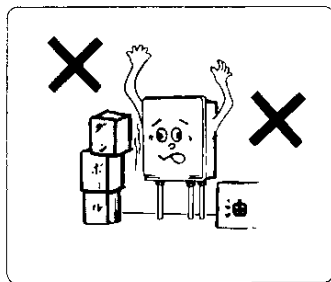
ガス漏れ予防

- 使用中にガスのおいや、不快なおいがないか時々確かめてください。
- 使用後は必ずメインコントローラの運転スイッチを切り、運転ランプ、燃焼ランプが消灯したことを確かめてください。
- お出かけやおやすみ前には、万一の事故がないように必ずガス元せんを閉めてください。



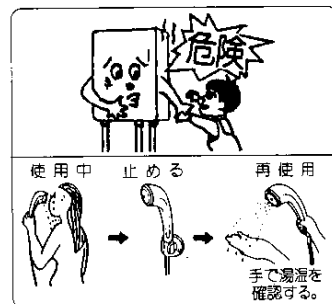
火災予防

- 器具の上やそばに燃えやすいもの、(洗たくもの、揮発油など)を絶対においたり、近づけたりしないでください。
- 火をつけたまま就寝、外出は絶対にしてしないでください。



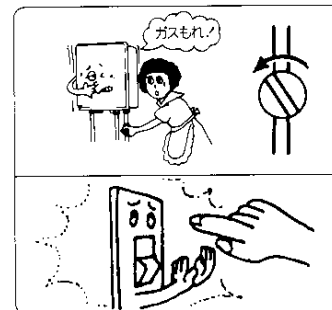
やけどのご注意

- ご使用中および消火直後は、器具本体と排気管は熱くなります。手を触れたりしないでください。
- シャワーをご使用后、すぐに再度お使いになるときは、お湯をいきなり体や頭にかけず、手で湯温を確認してからお使いください。器具の後沸きによって一瞬熱いお湯がでることがありますのでご注意ください。



ガス事故防止

- ガス漏れに気づいたときは、ただちにご使用を中止し、ガス元せんを閉じ、絶対に使用しないでください。
- 万一ガスが漏れたときは絶対に火をつけたり、他の電気器具にふれたり(スイッチの入・切や電源プラグの抜き差し等)しないでください。



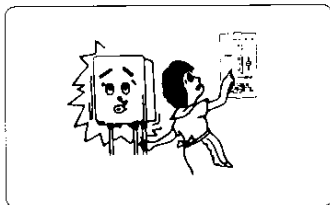
凍結についてのご注意

- 厳寒期には器具内の水が凍結し、破裂事故が起こることがありますので、庭のたまり水などが凍るおそれのある日は凍結を防止する処置を必ずおこなってください。(凍結防止処置については20ページを参照)
- 凍結したときは
 - ①器具や配管が、破損し、高額な修理費用がかかる場合があります。
 - ②凍結したまま使われますと、器具に異常が生じる場合があります。
 凍結が溶けた後、水もれがないことを確認の上ご使用ください。

特に注意していただきたいこと㊦

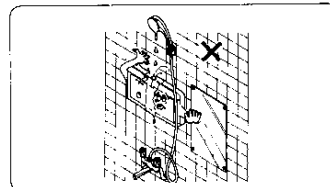
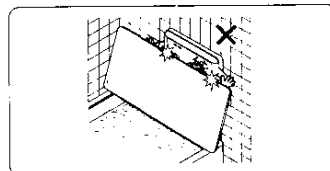
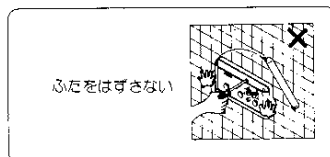
異常時の処置

- コントローラ（メイン・風呂）の燃焼ランプ（赤）が点滅したときは、使用を中止して、メインコントローラの運転スイッチを切ってください。ガス元栓が開いていることを確認して、再度運転スイッチを入れて使用してください。
- ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、ただちにご使用を中止（給湯せんを閉め、メインコントローラの運転スイッチを切る）してじゅうぶんな点検をお願いします。（故障・異常の見分け方と処置方法については24ページをお読みください。）



風呂コントローラについてのご注意

- 風呂コントローラは防湿構造になっていますので、風呂コントローラのふたは絶対にはずさないでください。
- 浴そうのふたなどを風呂コントローラに当てないでください。
- 風呂コントローラに直接水がかがらないように注意してください。



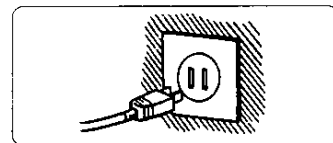
特に注意していただきたいこと㊦

日常の点検手入れ

- 器具を安全、快適にお使いいただくために、日常の点検、手入れは必ずおこなってください。（点検、手入れの方法については22ページをお読みください。）

落雷について

- 落雷のおそれのあるときは、使用を中止して電源プラグを抜いてください。また、電源が直接分電盤から配線されている時は、その配線のブレーカーを切ってください。



入浴剤の使用について

- 硫黄系の入浴剤はフロアタプターが腐食する原因となるものがありますので、入浴剤のご注意文をじゅうぶんご参照ください。

その他

- 飲料用、調理用で使用されるときは、給湯配管内に長時間たまった水を放出した後使用してください。
- 給湯せんの同時使用について
台所と風呂場などで同時に使用されますと、湯量が少なくなることがあります。特にシャワー使用中の同時使用はやめてください。また給湯（シャワー）と風呂のお湯はり（追いだし）の同時使用はできません。
- 冬の給湯温度調節について
冬期水温が極端に低くなると、温度調節つまみを最高温度に設定しても、湯温が上がらない場合があります。その場合は給湯せんを絞ってご使用ください。

器具の設置

設置上のご注意

- 正しく設置されているかどうか、工事説明書を参照の上お客様自身でご確認してください。

給水・給湯・風呂・電気の接続

- 給水・給湯・風呂・電気の接続工事は専門の工事業者におまかせください。

ガス管の接続

- 鉄管接続になっていますので、大阪ガスにご相談ください。

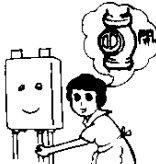
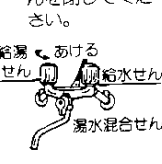
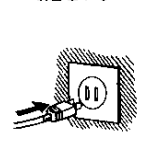
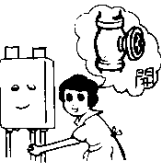
アースの接続

- 水道管およびガス管にはアース接続しないでください。

使用方法

使用前の準備と確認

- 器具の点火操作をする前に次のことを行なってください。

手順 1	手順 2	手順 3	手順 4
<p>・給水元せんにを全開にしてください。</p> 	<p>・給湯せんにを開いて水が出ることを確認し給湯せんにを閉じてください。</p> <p>給湯 ← あける せん 給水せん 湯水混合せん</p> 	<p>・電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。</p> 	<p>・ガスの元せんにを全開にしてください。</p> 

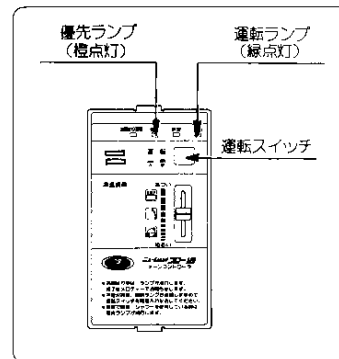
使用方法②

点火の準備

- メインコントローラおよび風呂コントローラの各スイッチは、すべてON/OFFスイッチになっています。スイッチを押すと「入」になり、もう一度押すと、「切」になります。

メインコントローラの運転スイッチを「入」にしてください。

運転ランプ(緑)・優先ランプ(橙)が点灯します。(優先ランプ(橙)が点灯しない場合は、メインコントローラでの湯温調節はできません。詳しくは13ページを参照してください。)

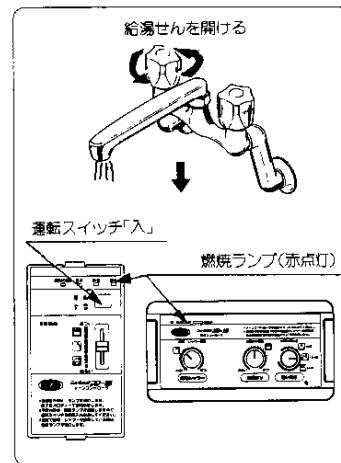


給湯・シャワー

(1)お湯の出し方(点火)

給湯せんにを開けますと、自動的にメインバーナに着火、お湯が出ます。
〔メインコントローラ、風呂コントローラの燃焼ランプ(赤)が点灯します〕
〈ご注意〉

- 使いはじめは給湯配管の冷水を追い出すまで、しばらくはお湯が出ません。
- 初回点火時や長時間使用しなかった後はガス配管中に空気が入っていることがあり、メインバーナに着火しないときがあります。このときには燃焼ランプが点滅してお知らせしますので、メインコントローラの運転スイッチを切り、再度運転スイッチを入れてください。



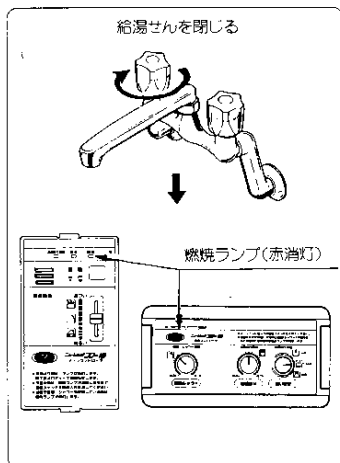
使用方法③

②お湯の止め方(消火)

給湯せんを閉じれば、自動的にメインバーナの炎が消えます。〔メインコントローラ、風呂コントローラの燃焼ランプ(赤)が消灯します〕 つぎにお使いになるときは、給湯せんを開けるだけでメインバーナに着火しお湯が出ます。

〈ご注意〉

給湯せんを閉じた後、および運転スイッチを切っても送風機がしばらくまわっていますが異常ではありません。



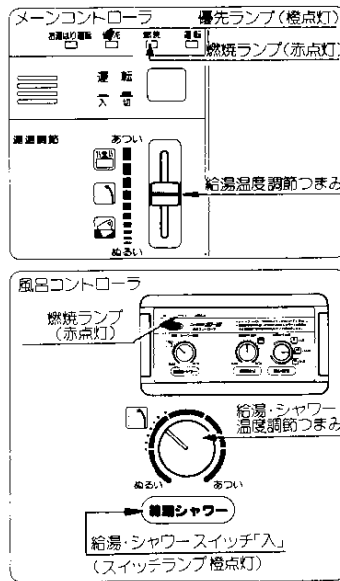
③(給湯の)温度調節

●〈メインコントローラで操作するとき〉
温度調節つまみを上下に動かして給湯の温度を調節してください。

〈ご注意〉

優先ランプが消灯しているときは、メインコントローラで温度調節はできません。風呂コントローラのお湯・シャワースイッチを切るとメインコントローラの優先ランプ(橙)が点灯し温度調節ができます。

●〈風呂コントローラで操作するとき〉
①給湯・シャワースイッチを入れてください。
〔スイッチランプ(橙)点灯〕
②給湯・シャワー温度調節つまみを回して給湯・シャワーの温度を調節してください。
シャワーの絵の範囲は適温位置の目安です。(約40℃~48℃)



使用方法④

(風呂の) お湯はり

●お湯はりは風呂のフタをしたままで行ってください。お湯がさめに小さくなります。

(1)点火

①メインコントローラの運転スイッチが入っていることを確認してください。
②風呂コントローラのお湯はり水位調節つまみで水位調節してください。(調節方法はP15を参照してください)次にお湯はりスイッチを入れてください。器具は自動的に運転し風呂アダプターからお湯が出てきます。(メインコントローラの燃焼ランプ(赤)、お湯はり運転ランプ(橙)、風呂コントローラのお湯はりスイッチランプ(橙)、燃焼ランプ(赤)が点灯します。)

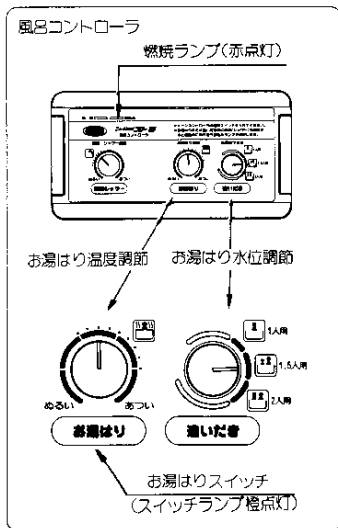
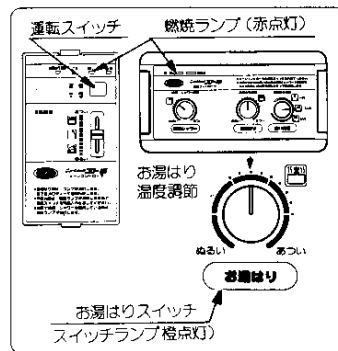
(2)消火

①水位調節つまみで、設定された水位になりますと、お湯はりは自動的に止まり、メインコントローラよりメロディー(約30秒間)で、お湯はりの終了をお知らせします。(メインコントローラのお湯はり運転ランプ(橙)点滅後、メインコントローラの運転ランプ(緑)以外、すべて消灯します。)

②お湯はりを途中で止めたいときはお湯はりスイッチを切ってください。

〈ご注意〉

お湯はり、追いだし開始時、配管中の空気が風呂アダプターより1~2秒、出てきますが異常ではありません。

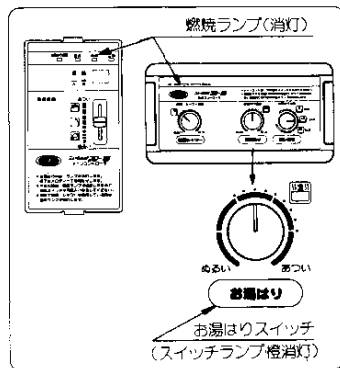


使用方法⑥

③お湯はり温度調節と水位調節

①お湯はり温度調節つまみを回して、お湯はりの温度を調節してください。お風呂の絵の範囲は適温位置の目安です。(約40℃～48℃)

②水位調節つまみを回し、絵表示の位置を目安にお湯はりの水位を調節してください。



(風呂の) 追いだし

●浴そう内に水が入っていることを必ず確認してください。水がない状態で点火しないでください。

(1)点火

①メインコントローラの運転スイッチが入っていることを確認してください。

②風呂コントローラの追いだしスイッチを入れてください。

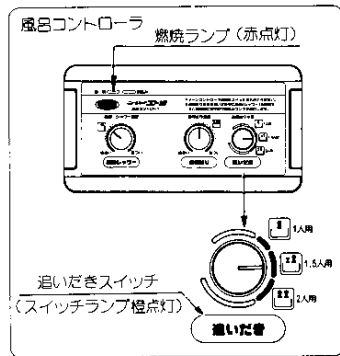
風呂アダプターから高温水が出て追いだします。

(2)消火

適温になりましたら追いだしスイッチを切ってください。

高温水もガスも止まります。

(メインコントローラの運転ランプ(緑)以外、すべて消灯します)



使用方法⑦

前日の残り湯を沸かすとき

使用法は(風呂の) 追いだし方法と同じです。

●入浴後は必ず風呂のフタをしめる習慣をつけてください。お湯がさめにくくなります。また浴室のカベ、天井などのカビ発生が少なくなります。

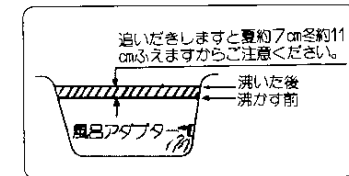
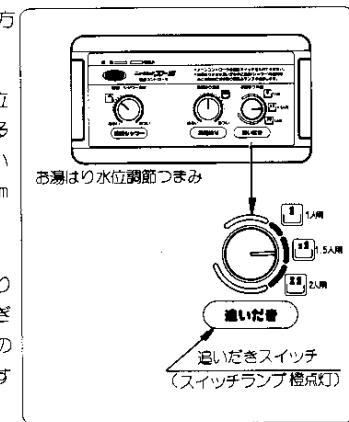
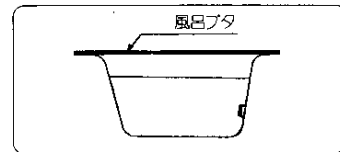
〈ご注意〉

高温水で沸かしますから浴そうに水が入っていることを必ず確認して下さい。水がない状態で点火しますと、安全装置がはたらいて運転を停止します。

ご使用法は15ページの追いだし使用法と同じです。

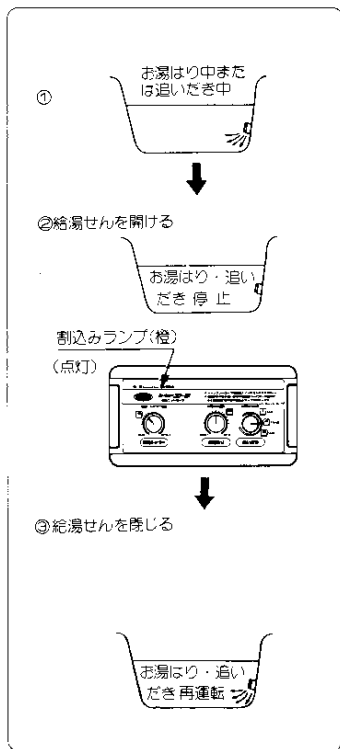
●高温水で沸かしますから、浴そうの水位が上がります。下図のように残り湯が多いときは、季節により異なりますが、いつも入浴されている水位より7cm～11cm排水して水位を下げておいてください。

●浴そうの種類・大きさ・季節などにより沸かす時間がちがいますから沸かしすぎないようにご注意ください。沸かす前の残り湯の水位をいつもあわせておきますと、沸かす時間もほぼ同じになります。



お湯はり、追いだき中に給湯を使用するとき

- (1)お湯はり、追いだき中に給湯せんを開けると、自動的に給湯に切り替わってお湯が出てきます。
 - (2)給湯に切り替わっている間は、お湯はり・追いだきは停止します。
(風呂コントローラの割込みランプ(燈)が点灯します。)
 - (3)給湯せんを閉じると元の使用状態(お湯はりまたは追いだき)に自動的に復帰します。お湯はりの場合は、設定水位で自動停止します。
- お湯はり使用中に給湯をしても、最初に調節したお湯はりの水位は変わりません。



- 飲料用、調理用としてお使いのとき
器具内に長時間たまった水は飲料用または調理用に使用しないでください。
- 使用後すぐに再度お使いになるとき
器具の後沸きによって一瞬熱い湯が出ることがありますので、少し出してから手を触れるようにしてください。
- 給湯せんの同時使用について
2箇所同時に給湯使用したとき、湯温が低くなる場合があります。
シャワー使用中は、できるだけ同時使用はさけてください。
- 水圧が下がったとき
この器具は、点火するのに0.2kg/cm以上の水圧が必要です。ご使用中でも水圧が0.2kg/cm以下に下がると、メインバーナは消火しますが故障ではありません。
(給水元せんは全開にしてお使いください)
通常システムで1.0kg/cmの給水圧力が必要です。

停電時の処置

(1)お湯はり・追いだき使用中の停電の場合

- ①風呂アダプターから水が流れ放しになりますから器具下の給水元せんを閉じてください。
- ②メインコントローラの運転スイッチを切ってください。
- ③通電した時は、給水元せんを開き、14～15ページの「使用方法」に従って操作してください。

〈ご注意〉

お湯はりを再使用する時には、初期からのお湯はりにリセットされ、お湯があふれる場合がありますので、お好みの水位になれば手動でお湯はりスイッチを切ってください。(再度押す)

(2)給湯使用中の停電の場合

- ①メインコントローラの運転スイッチを切り、給湯せんを閉じてください。
- ②再通電したときは 12～13ページの「使用方法」に従って操作してください。

断水時の処置

- (1)断水のときは使用しているすべてのスイッチ（お湯はりスイッチ・追いだしスイッチ・運転スイッチ）を切り、給湯使用中のときは給湯せんを閉じてください。
- (2)通水後は11～17ページの「使用方法」に従って操作してください。

安全装置が作動したときの処置について

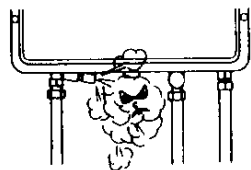
使用中に燃焼ランプ(赤)が点滅したときは、使用を中止して給湯せんを閉めてメインコントローラの運転スイッチを切ってください。しばらく様子を見て再度運転スイッチを入れ給湯せんを開けて使用してください。そのとき再び燃焼ランプが点滅したときは、お買い求めの販売店、または大阪ガス支社へご連絡ください。

●バーナ安全装置

万一使用中にバーナの炎が消えても生ガスが出ないように安全装置が働いて自動的にガスが止まり、燃焼ランプ(赤)が点滅します。

●ハイリミットスイッチ

熱交換器が異常な温度上昇をしたときは安全装置が働いて自動的にガスが止まり、燃焼ランプ(赤)が点滅します。



〈ご注意〉ハイリミットスイッチが作動するときは、熱交換器の中の圧力が異常に高くなり、湯沸器の損傷を防ぐため安全装置(過圧逃し弁)から圧力を逃します。高温の蒸気が器具の下に噴出しますので注意してください。

●過熱防止装置（温度ヒューズ）

使用中器具内の温度が異常に高くなったときは、安全装置が働いて自動的にガスが止まり、燃焼ランプ(赤)が点滅します。

●風呂アダプター

浴そうの中に水またはお湯が入っていない状態で追いだし運転をしたときは、高温水は途中で止まりガスも停止します。その時は、追いだしスイッチを切って浴そうの中に水があることを確認してから再度追いだしスイッチを入れてください。

冬期の凍結による湯沸器の破損防止について

- この器具には万一凍結防止処置を忘れたときや、急な冷え込みのときのために低温作動ヒーターを組込んでいます。外気温度が下がると自動的に器具内を保温します。

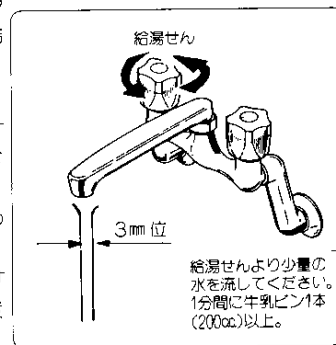
〈ご注意〉この器具の低温作動ヒーターは、メインコントローラの運転スイッチ「入」「切」には関係なく作動しますが電源プラグを抜くと作動しません。器具内の水を抜くとき以外は絶対に電源プラグを抜かないでください。

- 外気温度が極端に低くなる恐れのある場合は、次のような処置をおとりください。(20～21ページ)

1. 給湯せんから水を流し放しにする方法

器具本体だけでなく給水・給湯配管の凍結も防止できます。風呂配管の凍結予防は21ページを参照してください。

- ガス元せんを閉め、メインコントローラの運転スイッチを切ってから給湯せんより少量の水（1分間に牛乳びん1本以上(200cc以上) 特に寒い日は多めに）を流してください。また、流量が不安定なことがありますので念のため30分くらい後にもう一度流量をご確認ください。



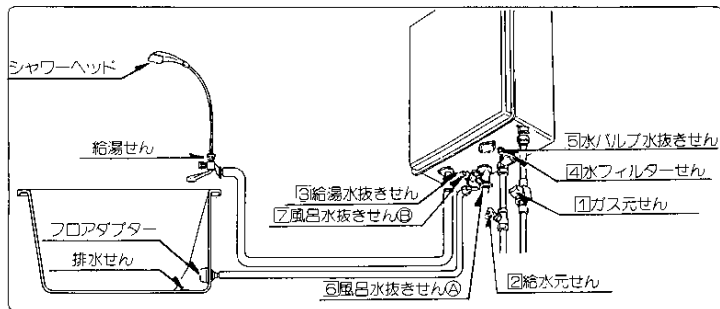
使用時のご注意④

2. 器具の水を抜く方法（入居前や長期不在の場合気温が-5℃以下になるような場合）

（この方法は、給水配管の凍結防止はできません。）

● 次の操作手順で器具の水を抜いてください。

- ① ガス元せん①を閉める。
 - ② 給水元せん②を閉める。
 - ③ すべての給湯せんを開く。
 - ④ シャワーヘッドを下にさげてホース内の水を抜く。
 - ⑤ 水フィルターせん④を左に回し抜きとり、よく振って水を切ってください。
 - ⑥ 水バルブ水抜きせん⑤、風呂水抜きせん⑥⑦を左にまわし抜きとる。
 - ⑦ 風呂水抜きせん⑥⑦を左に回し抜きとり、よく振って水を切ってください。
 - ⑧ 風呂水抜きせん⑥⑦を左に回し抜きとり、よく振って水を切ってください。
 - ⑨ 風呂コントローラのお湯はりスイッチを入れ、スイッチランプ点灯を確認してください。約3秒後お湯はりスイッチを切り、スイッチランプの消灯を確認してください。
 - ⑩ メーンコントローラの運転スイッチを切り、運転ランプの消灯を確認してください。
 - ⑪ 電源プラグを抜いてください。
- 水フィルターせん④、水抜きせん③、⑤、⑥、⑦と給湯せんは、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。
- 再度ご使用のときの手順
- ① 水フィルターせん④、水抜きせん③、⑤、⑥、⑦を閉める。
 - ② 給水元せん②を開き、給湯せんから水が出るのを確認する。
 - ③ 必ずすべての給湯せんを閉めてから、11～17ページの「使用方法」に従ってお使いください。



3. 風呂配管の凍結による破損防止について

外気温度が極端に低くなるおそれのある場合、浴そうの湯を最後の人の入浴後に抜いてください。

日常の点検・お手入れ

点検・手入れの際のご注意

- 点検・手入れの前には必ずガス元せんを閉じ、（電源プラグを抜き）器具が冷えてから行ってください。
- 器具は絶対に分解しないでください。

点検

- 器具の上や周囲に燃えやすいものを置いていませんか？
- 給排気トップがふさがっていませんか？

定期点検について

- 器具はご使用に支障がなくても、2～3年に1回くらい、バーナや各部の作動が「正常、かどうか点検するのが、安全に長期間ご使用いただく為の「ひけつ」です。
- お買い求めの販売店又は、もよりの大阪ガス支社に、点検・診断を依頼してください。

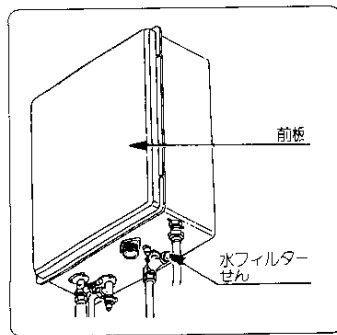
お手入れ

1. メーンコントローラ、風呂コントローラ、前板のそうじ

メーンコントローラ、風呂コントローラ、器具本体の前板の掃除は、やわらかい布に中性洗剤をひたし軽くふいてください。

（ご注意）

- ① 洗剤が残らないようにふきとってください。シンナーや、ベンジンなどでふがしないでください。（本体の色、表示ステッカーの字が消えます）
- ② 風呂コントローラには、故意にお湯や、洗剤などをかけないでください。



アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

- 24ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。
- ご確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないで買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

- ① 品名……（ガス追いだし機能付湯沸器）〈*ニュージェット70-15*〉
- ② 品番…… 器具の正面に貼付してあります。

（例）

(4)31-066(U)

大阪ガス株式会社

04

- ③ 現象……（できるだけ詳しく）
- ④ 道順……（できるだけ詳しく）

転居される場合

- ガスには都市ガス14種類およびLPガスの区分があります。
ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社にご相談ください。
この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証書について

- この器具には保証書がついています。
このガス湯沸器は保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。
詳しくは保証書をごらんください。
保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

特 長

- 1 風呂のフタをしたまま、お湯がはれます。お湯はりの水位を調節しておけば自動的に適量停止して、メロディでお知らせします。
- 2 電子コントロール方式で出湯温度を検知して自動的にガス量を制御しますから、季節により水温が変化しても一定の出湯温度が得られます。
- 3 ジェットフロー方式ですから風呂蓋とちがい湯アカが出ません。
- 4 追いだきしたとき、浴そうの上下の温度差がほとんどなく快適な入浴ができます。
- 5 ガス、お湯の無駄が少ない省エネルギータイプです。
 - 出湯能力は16号から3.5号まで自動的に調節しますから使用用途に応じて適温、適量の湯が得られます。（ただし出湯能力の範囲内で）
 - 給湯せんを開くだけで、メインバーナに着火するダイレクト着火方式です。

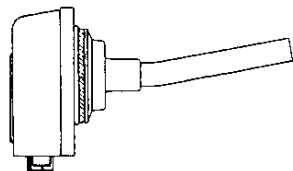
寸法図と仕様一覧表③

仕様一覧表

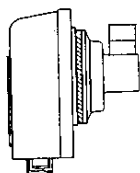
種別		31-066型	
		都市ガス6C	都市ガス13A
項目			
最大ガス消費量(Kca/h)		30.000	
外形寸法(mm)		高さ615×幅480×奥行236	
重量(kg)		32	
接続	ガス	20A(PT3/4)	
	給水	15A(PT1/2)	
	給湯	15A(PT1/2)	
	風呂	15A(ソルダー15A接続)	
	電気	C39	
消費電力(W)		給湯使用時100・風呂使用時90 (低温作動ヒーターは100)	
点火方式		AC連続スパーク点火・ダイレクト着火	
必要使用水圧(kgf/cm ²)		1.0	
出湯量(水温+25℃)(ℓ/min)		16.0(湯水混合水せんで混合した時)	
安全装置		<ul style="list-style-type: none"> ・バーナ安全装置・風圧スイッチ ・給水水流スイッチ ・ハイリミットスイッチ・過昇温防止装置・過圧逃し弁 ・バキュームブレイカー・凍結予防装置(低温作動ヒーター) ・風呂アダプター・過熱防止装置 	

別売部品のご紹介

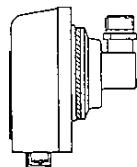
①フロアダプター-A
(36-060)



②フロアダプター-B
(36-061)

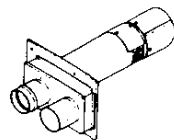


③フロアダプター-C
(36-062)

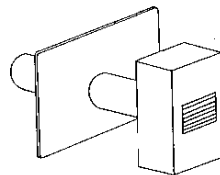


別売部品のご紹介②

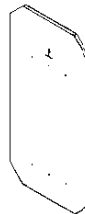
④給排気トップ
壁厚 250mm用(95-511)
// 350mm用(95-512)



⑤軒下用強制給排気トップ
壁厚 230mm用(95-513)
// 350mm用(95-514)



⑥防熱板
(補修用部品扱い)



本製品と快適なくらしのために



年中、快適にシャワー、上り湯が使用できます。
又、洗面化粧台、流し台へも給湯できます。

おねがい

ガスくさいときはお部屋の元せんを閉め、窓を全開にしてから(火気に注意して)大阪ガス支社・サービスステーションにご連絡ください。